

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 収蔵品等管理業務	修繕、燻蒸等の委託を行い劣化を防ぐ。	劣化防止及び修復件数	件	2	0	1	0
② 収蔵品寄贈・寄託手続業務	寄贈、寄託の手続を行う。	手続き件数	件	13	18	13	2
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 収蔵品数	収蔵品数として管理している点数	百点	約300	約300	約300	約300
			約300	約300	約300	
2 目録化率	全収蔵品のうち目録化を終えている割合	%	90	92	93	94
			90	92	93	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	歴史的にも貴重で価値のある所蔵品を管理することは当然のことであり、適切な管理ができれば、歴史文化の振興にも影響を及ぼす。	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。		
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。		
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。		収蔵品は温度、湿度の管理が重要であるため空調等施設のメンテナンスが必要であり、出土品の劣化を防ぐための、錆び取り、塩分除去、コーティング等の保存処理が必要である。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。		
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。		
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。		
	民間の活用余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。		
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。		
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。		
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。		

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	今後も職員(学芸員)の虫歯害対策の知識や美術品の取扱い方法などの知識を深め、適切な状態で保存する必要がある。現在、収蔵している出土品やこれまでにデータ化した資料を良好な状態で保存するために、収蔵品保存室の空調機フィルターの計画的な交換等によって、室温や湿度等の適正管理を行う。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	市民の財産ともいえる収蔵品を最善、最良の方法を模索すると共に的確に管理し、また、当該収蔵品に更なる価値付け等を実施し、生涯学習の資料として広く提供出来る様に管理・保存に努める。	評価責任者 中山 富雄
------------------	--	----------------